

平成26年度 第1回消費生活モニター意見交換会報告

日時 平成26年7月10日(木) 午後1時30分～4時00分
会場 てくのかわさき 出席者 38人
次第 1 開 会
2 あいさつ
3 事務連絡
4 講演及びワークショップ
テーマ 「私たちのくらしはすべて世界につながっている
～商品の一生を知ろう～」
講 師 社団法人
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 (NACS)
大石美奈子さん (ファシリテーター)
辰巳菊子さん (ミニ講演会 講師)
5 閉 会

～講義概要～



ファシリテーター 大石さん

☆ 講師から「ワークショップ」とは、参加する人が、主体的に、遊び心を持って、学び合う場であること、参加者がつながっていくことを目的にしていることを説明しました。

☆ 商品の一生を考える題材として「携帯電話」「レギュラーコーヒー」の2品目のうち、各自興味のある物を選択し6グループにわかれしました(携帯電話3グループ、レギュラーコーヒー3グループ)。

☆ アイスブレイク(*注)として、グループごとに自己紹介と「モニターに参加した動機・今取り組んでいる節電対策」について簡単な意見の交換を行った後、グループの代表者が発表を行いました。

(*注)アイスブレイクとは、参加者の緊張をほぐし、話しやすい雰囲気をつくり、参加者同士が知り合うきっかけ作りのために行う簡単な作業のこと。

◎◎おすすめしたい節電対策◎◎

- エアコンなるべく使わず、うまく風を取り込む。
- 家族で1つの部屋にまとまって過ごす。
- 電化製品買い替えの際は省エネ性の高い製品を選ぶ。
- LED電球に換える事。
- 夜間電力を有効活用する。

など



「意見交換」の様子

☆ 発表後、「携帯電話の一生～資源から廃棄等まで～」「レギュラーコーヒーの一生～原料栽培から廃棄まで～」における環境への影響について、どのようなものがあるかを意見交換し、付せん書き出す作業を行いました。

☆ その後、各グループで作成した「商品の一生」を貼り出し、グループごとに代表者がグループ内の意見を発表し、他のグループとの質疑応答を行いました。



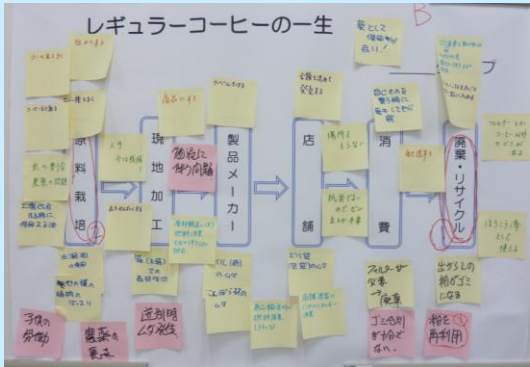
「携帯電話の一生」発表の様子



「レギュラーコーヒーの一生」発表の様子



A~Cグループで作成した
レギュラーコーヒーの一生



D~Fグループで作成した
携帯電話の一生



☆ 次にミニ講座として、配布資料「わたしたちの暮らしはすべて世界につながっている」を基に、講師から「持続可能な暮らし（ライフスタイルの見直しや環境に配慮した暮らし）につながる商品選択のために商品の一生を知ろう」などについて説明を受けました。



ミニ講座の様子
講師 辰巳さん

◎ 持続可能＝無理なく、安心して命をつないでいけること。“命”は人間だけでなく、地球上のすべての動植物の命のこと。緑も植物も四季も動物もあらゆる命がずっとつながっていくことを考えた暮らしというのが、安心できる暮らしであるという事

◎ ものやサービスは全部世界につながっている＝私たちが日常飲んでいるコーヒーなどはお店に行けばすぐ買えるが、たどっていくと私たちの行ったことのないような世界で作っているかもしれない。アメリカだって携帯電話を便利に使っているけれども、たどっていくとアフリカの端っこで作っていたりするかもしれない。それに気づく、感じる、という事が重要である事。

◎ ものの一生は見えない社会になっている＝江戸時代でしたら靴を買おうと思ったら、下駄を買いにいったら木を切ってきて、下駄を作るのを見て選ぶことが出来たが、今は全然見ることが出来ない。例えばコーヒーは産地が限定されており、赤道の上下 25 度の範囲いわゆるコーヒーベルトの範囲でしか作ることが出来ない事。

◎ ものを長く使い大事にする＝安いものには安い理由があり、何でこんなものが安く買えるのか違和感をもたなければいけない。一つ一つの商品にはライフサイクルがあり大勢の人が関わってものを作っているのに、最後に 100円しか支払わなかったら本当に幾らずつお金が落ちるので考えなければいけない。どこかの人が虐げられているという事です。安いと私達消費者は、安易に捨てていいやと思ってしまう。携帯電話について5年程度は使えるが、それを1～2年で買い換えてしまうとそれだけ資源が必要になる事。そうするとライフサイクルが短くなってしまふ、そうするとゴミが増える、売る側も沢山、利益をあげなければならないから、資源が沢山いる。安物買いは社会全体で改めていかなければいけない。私は今思っているのは、2個買うのを1個にしようという事で、100円のを2個買うより、200円のを1個買おうという事です。そうすると、長く使うわけだし、大事にすると思います。

◎ ライフサイクルの一生には多くの人に関わっている＝コーヒーでも、コーヒー美味しいな、リラックスできるなと飲む時には、そこに関わっている人達、皆が喜んでくれるようなものを買いましょう。自分達が消費する事で誰かを悲しませるようなものを選びをしないよう考えて頂ければと思います。

などについてお話をいただきました。



身近なところで販売されている「レギュラーコーヒー」

☆ 最後にふりかえりの時間として、各自「ふりかえりシート」に今日体験して思った事などを記入し、最後に、一人ひとり参加して感じたことなどを一言ずつ発表して、閉会となりました。

◆私がこれからお買い物をするときに実行しようと思ったことは？ (皆さんのアンケート回答から。順不同、抜粋)
買物をする時は、ムダがないようにできるだけ使い切りを考えて、買物をしていきたいと思いません（作っている方の事も頭に入れておきたいと思えます）。
認証ラベルを気にして購入しようと思えます。今迄2～3年で携帯電話を変えていたので、もう少し長く使おうと思った。
商品のバックグラウンドを僅かながら考えてみたい。ラベルをよく見ること。小さなことから始めたい。
継続して「MOTTAINAI」を頭に置いておきたい。子どもたちにも理解してもらいたいと思えます（出前授業を通して理解してもらおう）。
リサイクル・リユース等価格以外も考えて行動すること。
安い物に理由があるということが、わかったので「作る人」について考えて買物したいです。
良い製品を意識して購入する事。次の世代に資源・環境を大切に。
物を買う（使う）時に、物の一生（それぞれの過程で関わっている方の事）を考えてお買物をしていなかったの、考えてからお買物をし、使うものと不用なものは買わなくなると思うので、実行したいです。
安いからと沢山購入するのではなく、必要な量だけ購入し、大切に使用して行きたいと思えました。

すべての物に一生があるということで考えていきたいと思ったが、すべてには無理かな…と。でも、少なくともコーヒーに関しては考えてみようと思いました。ただ、確かな目を持って物を選ぼうとすると、高価になることが多い場合、家計のことを考えて葛藤することもあるのかなと思いました。

相手が見える関係の商品を日常買っているが、やはり一番必要だと再認識したのでそのまま実行します。

安い物には安い理由がある事を認識し、消費することで誰かに喜んでもらえるような買い物に心がけたい。

商品が私の手元にくるまでには、ずいぶんいろんな人の手間ひまがかかっているんだなあと感謝しながら購入しなければと思いました。

できるかぎり環境に負荷がかからないものを選ぶこと。その際には今日学んだことをよく考えたいと思う。

ものを決めるとき購入・消費するときは、自分以外に生産者のことや色々な影響のことも考えたい。安いものばかり目がいきがちだが、ケースバイケースで考えてまいりたいと思います。

《 全体から 》

今回の意見交換会は、身近な商品である「携帯電話」「レギュラーコーヒー」の一生における環境への影響について、ワークショップ形式で、参加者が主体的に考え、意見を出しあっていきましました。参加された方からは、「意見を聞かせて頂いて皆さん本当によくご存知で私ももっと勉強しなければと思いました。」「視点を変えて考える事って大事だと思いました。」等のご意見をいただきました。

最後にふりかえりとして、参加して感じたことなどを「ふりかえりシート」に記入していただきましたが、このように学んだこと、感じたことを自分の言葉で表現することにより、より強く意識の中に残すことが出来るそうです。

今後、皆さんが買い物をする時などに、より環境に配慮した選択を心掛け、より賢い消費者になっていていただけることを期待しています。

